

令和6年度 浅子小中学校 学校評価集計表

※ 3.7以上はみどり色、3.0未満は赤で表示

※ 全体平均は、3.6(90%)以上はSA、3.2(80%)以上はA、2.8(70%)以上はB、2.7(69%)未満はCで表示

		「4:あてはまる」「3:ややあてはまる」「2:あまりあてはまらない」「1:あてはまらない」						
項 目		生徒	保護者	地域	教職員	平均	全体平均	
1 学校 の方 針	1	学校の教育活動全般に満足している。	3.2	3.4	3.5	3.6	3.4	3.5 A
	2	学校は、教育方針をわかりやすく伝えている。	2.7	3.2	3.4	3.6	3.2	
	3	学校は、特色ある教育活動(学力の向上・小中連携・開かれた学校)を行っている。	3.8	3.5	3.7	3.6	3.7	
	4	学校は、生命を尊重し、いじめや暴力のない学校作りに取り組んでいる。	3.7	3.1	3.6	3.9	3.6	
2 教 職 員 の 様 子	5	教職員は、子どもをよく理解し、個に応じたわかりやすい授業を行っている。	3.2	3.3	3.8	3.4	3.4	3.5 A
	6	教職員は、努力を認め、子どもの能力に応じた対応をし、自主性や表現力を伸ばそうとしている。	3.4	3.4	3.6	3.6	3.5	
	7	教職員は、子どもの悩みや相談ごとに親身になって応じている。	3.3	3.4	3.6	3.5	3.4	
	8	教職員は、家庭への連絡や報告を必要に応じて行っている。	3.6	3.6	4.0	3.7	3.7	
3 子 ど も の 様 子	9	子どもたちは、好ましい友達関係があり、楽しく登校している。	3.2	3.2	3.4	3.1	3.2	3.3 A
	10	子どもたちは、誰にでも気持ちのよいあいさつをしている。	3.2	2.8	3.5	3.5	3.2	
	11	子どもたちは、きちんとした身なりをしている(名札・髪型・服装・清潔感など)。	3.0	3.1	3.4	3.6	3.2	
	12	子どもたちは、学校行事や部活動等に積極的に取り組んでいる。	3.3	3.1	3.5	3.7	3.4	
4 教 育 環 境	13	各家庭では、しつけや基本的な生活習慣等を、きちんと身につけさせるように努力している。	3.7	3.0	3.0	3.0	3.2	3.4 A
	14	学校は、危険箇所への配慮があり、安全に生活を送ることができる環境を整えている。	3.3	3.3	3.6	3.6	3.4	
	15	学校では、人権教育が推進され、人としての尊厳と責務を重んじる教育が行われている。	3.4	3.1	3.8	3.5	3.4	
5 開 か れ た 学 校	16	学校は、学校行事等で、保護者や地域の人たちが、来校する機会を多く設けている。	3.1	3.5	3.5	3.6	3.4	3.5 A
	17	子どもたちは、育友会や健全育成会など、地域の行事によく参加している。	3.4	3.3	3.8	3.8	3.5	
	18	地域の住民は、子どもたちを大切に、励ましたり、注意したりしている。	3.5	3.3	3.3	3.9	3.5	
	19	学校は、学校や学級の様子を、お便りや学校だより、安心安全メールなどで必要に応じて知らせている。	3.7	3.4	3.9	3.9	3.7	
	20	学校は、地域の行事をよく理解し、協力的である。	3.4	3.5	3.6	3.2	3.4	
		平均	3.37	3.27	3.57	3.57	3.42	

結果の考察

全体平均は3.42で、昨年度の3.44よりも0.02ポイント低下している。昨年度と比較して特に保護者の評価が下がっている。学校の取り組みがまだまだ十分に評価されていないことがわかる。

「1 学校の方針」では、「2 学校は教育方針をわかりやすく伝えている」の保護者、児童生徒の項目が昨年度に比べて0.3低い。子どもたちに自分たちの目指すべき姿のイメージができていないことや学校の情報発信がまだまだ不十分なのがわかる。日頃から目指すべき生徒像を教職員がきちんと理解し、それを意識しながら教育活動を行っていく必要がある。また、保護者の「学校は、生命を尊重し、いじめや暴力のない学校作りに取り組んでいる。」の項目も0.3低い。道徳の時間を中心に、学校の教育活動全体で人権教育を進めていく必要がある。

「2 教職員の様子」では、「7 教職員は、子どもの悩みや相談ごとに親身になって応じている。」の児童生徒の項目が昨年度に比べ0.3下がっている。カウンセリングマインドを持って、子供の心に寄り添う指導の必要債がわかる。

「3 子どもの様子」では、「10 子どもたちは誰にでも気持ちの良いあいさつをしている」(昨年度も低かった)の項目が、保護者、地域、教職員で改善されている。1学期に重点的に取り組んだ「挨拶の改善」が形となって表れていることがわかる。

「4 教育環境」では、「15 学校では、人権教育が推進され、人としての尊厳と責務を重んじる教育が行われている。」の児童生徒の結果が0.4低下している。これも「2 教職員の様子」と同様、子供の心に寄り添った児童が必要であることがわかる。

「5 開かれた学校」では、「19 学校は、学校や学級の様子を、お便りや学校だより、安心安全メールなどで必要に応じて知らせている。」の保護者の0.4項目が低くなっている。学校HPの更新頻度を上げたり、学級通信等を発行することで特に保護者に対して学校の様子を発信していく必要がある。」